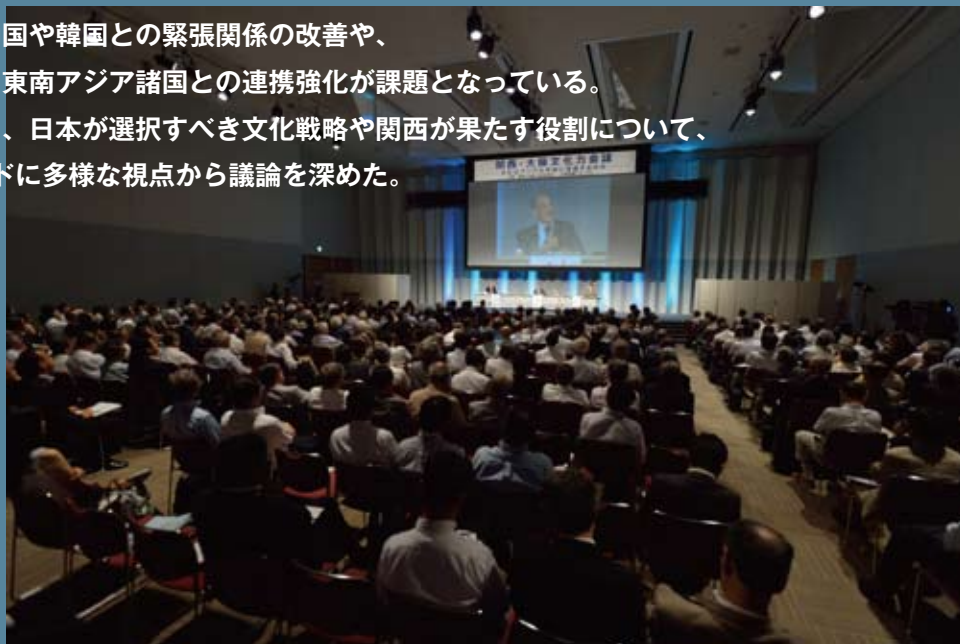


特集

文化はアジアの平和に貢献するのか

関西・大阪文化力会議

日本にとって今、中国や韓国との緊張関係の改善や、海洋国家として広く東南アジア諸国との連携強化が課題となっている。こうした課題に対し、日本が選択すべき文化戦略や関西が果たす役割について、「文化」をキーワードに多様な視点から議論を深めた。



主催：関西・大阪21世紀協会、大阪国際フォーラム

主催者開会挨拶

世界の人々から敬愛される 文化立国・文化立都の実現に向けて



公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会
会長 熊谷信昭

文化は、人々の暮らしや幸せ、あるいは豊かさなどに直結する根源的なものであると同時に、民族や国家の繁栄、さらには国際平和や世界の歴史を動かす力さえ持っているといっても過言ではありません。そのことは歴史の事実が示しています。実際、これまでに世界、人類に大きな影響を及ぼした国や地域や民族は、すべて、それぞれの時代に、経済力や軍事力だけではなく、世界に冠たる学術や文学、芸術、芸能などの文化の力を持っていました。

国や地域が繁栄し、かつ世界の人々から敬愛されるような名誉ある国家、世界の人々が憧れるような魅力あふれる地域となるためには、「文化立国」、「文化立都」を目指さなければなりません。

関西・大阪21世紀協会は、文化の振興と交流を通じて世界の国々と相互理解を深めていくとともに、関西・大阪の活性化、ひいてはアジア地域の平和と繁栄に貢献してまいりたいと存じております。

本日は、「文化はアジアの平和に貢献するのか」というテーマのもとに、文化の持つ力や文化の果たす役割、具体的な取り組みを推進するための方策、などについて幅広い視点からご議論いただき、私どもが「文化立国」、「文化立都」を目指して進むべき歩みの新しい指針が示されることを願っています。